

エコ 10 だより 第 206 号

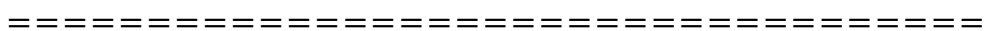


| エコ 10 だより | 第 206 号 | 2024 年 3 月 15 日 |

| 発行 | 神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室



メールマガジン「エコ 10 (てん)だより」は、マイエコ 10 宣言又は
配信への御登録を行っていただいた皆様を対象に、環境に配慮した行動
を自主的に実践する取組を広め、つなげていくことを目指して、
かながわ環境活動支援コーナーが配信しています。



<ニュース>

★ 「かながわ環境大使」白井貴子さんからのメッセージ ★

神奈川県では、本県にゆかりのある著名人に「マイエコ 10 宣言」や地球環境
保全の大切さを発信していただくため、「かながわ環境大使」として、藤沢市
出身のアーティスト 白井貴子さんに就任していただいています。

今号では、白井貴子さんから県民の皆さんにメッセージをいただきました。

～白井貴子 環境コラム (第 19 回)～

「未来へ咲かそう！フラワーパワー」

2024 年 1 月 20 日、KT Zepp 横浜で「未来へ咲かそう！フラワーパワー」という
合言葉の下、「白井貴子&The CrazyBoys」の 80 年代オリジナルメンバーで
ライブを開催しました。

神奈川県でのライブを冷静に振り返ると 40 年ぶりくらいかもしれません。

全国からファンの皆さんに集まっていただき 80 年代と変わらない熱い応援を
いただけたこと、心より感謝しています。

そのライブ会場のホワイエで神奈川県脱炭素戦略本部室の皆さんと共に私のこの 20 数年の
「環境仲間」が大集合で「SDGs カーニバル」も開催しました。

神奈川県庁の皆さんが今一番推進されている「脱炭素」の取り組み紹介。

2010 年「第 61 回全国植樹祭神奈川大会」テーマソングの「森へ行こう！」を 120 人
のみみんなで秦野会場で歌った時の模様。そして私も作曲で参加の神奈川県の

21世紀の合唱曲「ふるさとの風になりたい」のタイトルからイメージを広げ名付けた豪雪地帯、山形県大石田の街おこし「ふるさとの風プロジェクト」の皆さんによる蕎麦を販売。なんとこの蕎麦粉は地元の皆さんと私のファンの皆さんも集合し種まきして収穫した蕎麦なんです。

また、長野県小谷村の「茅ぶき文化」を未来へ繋げるために尽力されている茅葺き職人「小谷屋根」の松澤朋典さんも来られました。

2011年東日本大震災の復興支援以来、仲良くしていただいている「陸前高田」AID TAKADAの皆さん。そして神奈川県のお隣の静岡県にある私のマイキャンプ場「マーガレットグラウンド」がある「南伊豆」の皆さんも集まってくれました。

以前、この環境コラムでも取り上げた「地球は今のままのやり方で暮らしていたら、後12年で取り返しのつかない状況に手をかけることになる」という数字の「12年」を私は逆手に取って「だったら12年、音楽と共に環境重視のライブイベントを開催したい！」そんな風に思いスタートした日でした。

どうせダメなら「前向きに」という思いと「少しでもその数字を伸ばす努力をしたい」という思いが同居しています。

来年もきっと開催します！是非、皆さんも私のライブ＆「SDGsカーニバル」で日本全国の「SDGs」な動きに頑張っている皆さんに会いに来てくださいね。

とにかく、人間は何かの型で「自然の力」をいただかないと生きてはゆけないので、少しでも「母なる地球に恩返し」しながら「幸せに生きてゆく術」を見出せば幸いです。

◆脱炭素の自分事化に向けて「デコ活」を推進していきます！

神奈川県では、脱炭素社会の実現に向けた普及啓発ツールを、県独自の取組である「マイエコ10（てん）宣言」（私たちの環境行動宣言）から、オールジャパンの取組である「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）に令和6年度から移行し、普及推進に取り組めます。なお、マイエコ10宣言をされた方のうち、希望者を対象に配信を行っている「エコ10 だより」については、令和6年度以降も県の環境に関する広報ツールとして名称を変更した上で、配信を継続していきます。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f360478/index.html>

◆「マイエコ10宣言（プラごみゼロ宣言バージョン）」を「かながわプラ

ごみゼロチャレンジ」に名称変更します！

神奈川県では、2030年までのできるだけ早期にリサイクルされずに廃棄されるプラスチックごみゼロを目指しています。この度、一人ひとりがプラスチックごみ削減に向けた取組みを実行できる「マイエコ10宣言（プラスチックごみゼロ宣言バージョン）」を「かながわプラごみゼロチャレンジ」に名称変更しました！

「マイエコ10宣言（プラスチックごみゼロ宣言バージョン）」に取り組んでいただいている皆様には引き続きプラスチックごみ削減に向けた行動をお願いするとともに、まだ宣言されていない方は是非「かながわプラごみゼロチャレンジ」で行動してみましょう！

詳しくは県ホームページをご覧ください。

「かながわプラごみゼロ宣言」—クジラからのメッセージ—

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/sdgs/index.html>

■首都圏再エネ電力共同オークションについて

神奈川県では、環境にやさしい再生可能エネルギー由来の電力を利用したい企業・団体の皆様を募り、まとめて再エネ電力調達のための入札を行う「首都圏再エネ電力共同オークション」(せり下げ方式入札)を実施しています。共同で入札を行うことで、再エネ電力に、簡単に、お安く、契約切替できます。入札に係る費用は無料ですので、ぜひ御参加について、ご検討ください！

参加企業募集期間：2月1日(木曜日)～3月29日(金曜日)

参加費：無料(申込から入札まで)

対象：首都圏(※)内に拠点(本社、支社、事業所等)がある企業・団体

※ 業種、事業規模は問いません。再エネ利用に伴う特別な工事は不要です。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f7600/saieneauction-joint.html>

◆令和5年度かながわカーボンニュートラルセミナー開催中！

神奈川県では、横浜市・川崎市と共に、県内で事業活動を営む企業・団体の皆様を対象に、地球温暖化対策に関するセミナーを毎年開催しています。令和5年度のセミナー動画を公開しましたので、皆様ぜひご視聴ください！

動画配信期間：令和6年2月19日(月曜日)から

対象：県内で事業活動を営む企業・団体の皆様

URL：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f6674/p386796.html>

◆一般投票スタート！デコ活アクション大喜利大会

「デコ活」が広く浸透・定着し、国民が「デコ活アクション」を実践するよう、環境省が「デ」「コ」「カ」「ツ」の文字を含んだ独自のアクション標語やその訴求方法を公募したところ、企業・団体部門 126 件、自治体・地域部門 114 件、個人・NGO 部門 752 件、アイデア部門 210 件の計 1,202 件の応募がありました。4 月 30 日（火曜日）まで国民の一般投票の結果を踏まえ、各部門での環境大臣賞を決定します。

https://www.smartcross.jp/decokatsu_slogan/

◆横浜市と日本航空（JAL）、廃食油を原料とした持続可能な航空燃料（SAF）の製造推進に関する連携協定を締結

横浜市と JAL は、横浜市内の家庭で発生する廃食油を回収し、SAF などにリサイクルするための仕組みの構築及び社会実装の推進に関する連携協定を締結しました。取組の第一弾として、ダイエーが運営するイオンフードスタイル鴨居店において、廃食油の回収ボックスを設置して家庭で発生する廃食油の回収に取り組みます。

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2023/0228_SAF_files/20240228_JALkyoutei.pdf

◆気象庁、令和 5 年度異常気象分析検討会（第 2 回）の概要を公表

気象庁は異常気象分析検討会を開き、議事概要などを公表しました。2023 年 12 月から 2024 年 2 月までの日本の平均気温は、1898 年以降で冬として第 2 位の高温となりました。

https://www.data.jma.go.jp/gmd/extreme/kaigi/2024/0304/r05_2nd_kentoukai_202403.html

◆地球環境研究センター（国立環境研究所）、「ココが知りたい地球温暖化」を更新

国立環境研究所の地球環境研究センターでは、「ココが知りたい地球温暖化」を、IPCC 第 6 次評価報告書やパリ協定等の新しい科学的知見や国際情勢を反映した内容に順次更新中で、第二弾の更新が完了しました。

<https://cger.nies.go.jp/ja/news/2024/240307.html>

◆海洋気象観測船「凌風丸」を気象庁へ引き渡し

横浜市のジャパンマリンユナイテッド株式会社（旧播磨造船所）は、建造していた三代目となる海洋気象観測船「凌風丸」を気象庁へ引き渡しました。同船により、気候変動の実態把握、線状降水帯の予測向上のための気象観測・監視を実施します。

https://www.jmuc.co.jp/news/assets/ryofu_maru_delivery.pdf

◆大阪大学・産業技術総合研究所など、高速化学合成した非天然糖を原料としたバイオものづくりに、世界で初めて成功！

大阪大学や産業技術総合研究所などは、モデル微生物としてコリネ型細菌を用い、合成した糖液を唯一の基質とした乳酸の発酵生産に成功しました。この成果により、食料と競合しない持続可能な原料糖の調達が可能となり、バイオものづくり技術の一層の拡大が期待されます。

https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2024/20240208_1

◆日本マクドナルド、プラスチック製手さげ袋を有料化

日本マクドナルドは、4月から長崎県内の23店舗で先行導入し、利用客の意見や店舗オペレーションを検証し、全国の店舗への拡大を検討します。お客様提供用パッケージについて、再生可能素材、リサイクル素材、認証素材への移行を進めて行く予定です。

<https://www.mcdonalds.co.jp/company/news/2024/0219a/>

◆東京電力エネルギーパートナー(EP)、法人お客さま向け「TEPCO 省エネプログラム 2024」を実施

「TEPCO 省エネプログラム 2024」は、省エネ・創エネ・デマンドレスポンスの対象設備の導入サポートを通じて、お客さまの電気料金の負担を軽減し、電力需給安定化・地産地消型のエネルギー社会を推進します。

https://www.tepco.co.jp/ep/notice/pressrelease/2024/1666942_8669.html

◆東京電力エネルギーパートナー(EP)、山梨県でP2Gシステム導入に向けた現地工事を開始

山梨県並びに技術開発参画企業10社は、大規模P2Gシステムによるエネルギー需要転換・利用技術開発に係る実証事業地である、サントリー天然水南アルプス白洲工場及びサントリー白洲蒸留所の脱炭素化を目指します。

https://www.tepco.co.jp/press/release/2024/1667017_8714.html

◆セイコーエプソン、ドライファイバーテクノロジーを応用した
繊維再生の新技术開発へ、HKRITA と協業

エプソンは、繊維質の素材を解繊することができる独自のドライ
ファイバーテクノロジーを応用した伸縮性混紡素材や強撚糸素材の
解繊技術の確立を目指すと共に、HKRITA（香港繊維アパレル研究開発
センター）と共同開発に関する契約を締結し、新たな衣類繊維の
リサイクルソリューションの提供を目指すこととしました。

<https://corporate.epson/ja/news/2024/240205.html>

◆キーコーヒー、世界初！麻袋を混抄紙として再利用（アップサイクル）

キーコーヒーは、麻袋に入ったコーヒー豆を年間約 400 トン輸入しており
その麻袋（約 80 万袋）の大半を廃棄していましたが、三井物産や王子
製紙の子会社と共同で、世界で初めて紙に混ぜた混抄紙として再利用し、一部商品の
パッケージとして採用しました。同社は今後も商品パッケージを取り巻く環境対策に積極
的に取り組み、事業活動を通じて地球環境の保全活動を推進していくとのことです。

<https://www.keycoffee.co.jp/news/2024/240222.html>

◆ドトール、漂着ペットボトル由来のユニフォームを採用

ドトールコーヒーは、約 8 年ぶりに全国コーヒーショップで働く約 2 万人の
ユニフォームを一新します。新しいユニフォームには漂着ペットボトル
由来の素材も使われており、地球環境を考える契機となり、またドトール
コーヒーショップで働く人の誇りにつながることを期待しています。

<https://www.doutor.co.jp/news/newsrelease/detail/20240226161818.html>

◆ネスレ日本、中距離帯での貨物貨車輸送を開始

貨物鉄道輸送は、CO2 排出量がトラック輸送の約 11 分の 1 とされて
おり、これまでネスレ日本は 500Km 以上の輸送を貨物鉄道輸送へ切り替え
てきましたが（モーダルシフト）、このたび 200~350Km の一日 200 トン
のトラック輸送も貨物鉄道輸送へ切り替え、年間約 900 トンの CO2 削減
とトラックドライバーの負担軽減につなげます。

https://www.nestle.co.jp/sites/g/files/pydnoa331/files/2024-02/20240221_nestle.pdf

<イベント>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者がイベントを中止にすることが考えられますので、イベント実施の有無については、各イベントのホームページまで随時御確認ください。

◆動物のくらしとかたち―藪内正幸が描いた生態画の世界―

日時：2月23日（金曜日）～5月12日（日曜日）9時～16時30分

場所：神奈川県立生命の星・地球博物館 1階特別展示室

主催：神奈川県立生命の星・地球博物館

<https://nh.kanagawa-museum.jp/www/contents/1696383531035/index.html>

◆みんな集まれ！くずはの家

～かながわ緑の大使と一緒にみどりを楽しもう！～

日時：3月20日（水曜日・祝日）10時～15時

【第1部】10時～11時30分 【第2部】11時30分～15時

場所：「くずはの家」（秦野市）※第1部はオンライン開催も

主催：（公財）かながわトラストみどり財団

<https://ktm.or.jp/event/23p-40/>

◆昆虫講演会 けんじ先生のおもしろいぞ！昆虫たち！

日時：3月20日（水曜日）13時30分～15時

場所：アリオ橋本1階 グランドガーデン横の広場

主催：昆虫文化を子供たちに伝える会

https://hashimoto.ario.jp/app/24/img/event/2400007973/expansion/img_3ljoq0q8v5mow.jpg

◆令和5年度気候変動適応全国大会

日時：3月21日（木曜日）13時～16時30分

3月22日（金曜日）10時～16時15分

場所：オンライン開催

主催：環境省

https://www.env.go.jp/press/press_02807.html

◆樹木ガイドツアー

日時：3月23日（土曜日）10時30分～11時30分

場所：花菜ガーデン有料エリアの各所

主催：県立花と緑のふれあいセンター

<https://kana->

[garden.com/event/%e6%a8%b9%e6%9c%a8%e3%82%ac%e3%82%a4%e3%83%89%e3%83%84%e3%82%a2%e3%83%bc-48/](https://kana-garden.com/event/%e6%a8%b9%e6%9c%a8%e3%82%ac%e3%82%a4%e3%83%89%e3%83%84%e3%82%a2%e3%83%bc-48/)

◆EARTH HOUR（アースアワー）2024

日時：3月23日（土曜日）20時30分～21時30分

場所：自宅、職場など

主催：WWF

<https://www.wwf.or.jp/campaign/earthhour-info/2024/>

◆ソノヤマ～その景色をあなたの眼で見るための初心者向け登山ツアー～

日時：3月24日（日曜日）9時15分～15時

場所：JR高尾駅北口改札前集合（受付9時10分～）

主催：樹木・環境ネットワーク協会

<https://www.shu.or.jp/pimg/event/2400012.pdf>

◆教材体験フェスタ 2024

日時：3月24日（日曜日）10時～18時

場所：JICA地球ひろば（東京都新宿区）

主催：認定NPO法人開発教育協会

<https://www.dear.or.jp/event/12985/>

◆CN対応のための省エネ投資促進と補助金活用実践（設備投資関連）

日時：3月27日（水曜日）13時30分～16時30分

場所：オンライン開催

主催：（一財）省エネルギーセンター

<http://f.crmf.jp/eccjor/cc.php?m=9elz0zenfzf089>

◆『ペロブスカイト太陽電池フォーラム

～ペロブスカイト太陽電池の新たな活用に向けて～』

日時：3月27日（水曜日）13時30分～16時

場所：（学）桐蔭学園 アカデミウム（横浜市青葉区）

主催：（学）桐蔭学園、横浜市

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/ondan/2023/0220_perovskite.files/0003_20240222.pdf

◆「これからの住まいづくりを考える」～脱炭素社会の実現に向けて～

日時：3月27日（水曜日）14時30分～17時

場所：オンライン開催

主催：断熱建材協議会

<https://www.isover.co.jp/news/2024-02-19>

◆温暖化が水稲生産に及ぼす影響とその適応策

日時：3月28日（木曜日）15時～16時30分

場所：オンライン開催

主催：埼玉県環境科学国際センター

<https://saipat.pref.saitama.lg.jp/archives/1730>

=====
■お知らせ

=====
■知ってる？かながわエコBOX

「かながわエコBOX」は「かながわ環境活動支援コーナー」の愛称です。
かながわのローカルアジェンダである「私たちの環境行動宣言 かながわエコ10トライ」の取組や環境活動に関する相談、情報発信、活動の連携を支援する窓口です。どうぞお気軽に御利用ください。

【場 所】 かながわ県民センター（横浜駅西口）9階

【電 話】 045-321-7453 【FAX】 045-321-7454

【Eメール】 agendacorner@kccca.jp

【利用時間】 月曜日～土曜日 9時～18時（日曜、祝日、年末年始を除く）

【ホームページ】 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f70237/>

■バックナンバーの御案内

「エコ10だより」のバックナンバーは次のサイトより御覧いただけます。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f360478/p833139.html>

